

広島県立尾道北高等学校 第2回学校運営協議会会議録

本校の学校運営協議会を次のとおり開催した。

開催日時	令和元年 10月 17日 (木) 15:10~16:50	開催場所	尾道北高等学校 会議室
出席委員	<p>出席委員人数：6人 委員氏名（役職）： 会長 砂田 勝彦（元尾道北高等学校長） 副会長 林原 慎（福山市立大学教授） 坂本 里美（尾道市 政策企画課長） 井上 一男（尾道市立栗原中学校長） 小原 正啓（尾道市立長江中学校長） 松井 太（尾道北高等学校長） <本校教職員：21人></p>		
会議の概要	<p>(1) 開会行事</p> <p>(2) 協議（司会：副会長） 議題①「めざす尾道北高の学び」 （5名～6名の4つの小グループで協議を実施。） ・「探究心」「過程」を大事にしたい。 ・「がまん強さ」・・・気持ちが折れてもリカバリーする力も育てたい。 ・入試に直接関連しない教科，領域を大切にすることが必要である。 →家庭科，情報，読書など ・生徒が自分で問いを見つけることができる能力を身に付けて欲しい。 ・教職員が尾道北高校のミッション・ビジョンを共有して取り組むことが重要。</p> <p>*小，中，高，行政，保護者と地域が連帯する仕組みを構築する工夫をつくっていく工夫ができればよい。</p> <p>議題②生徒1人一台タブレットの導入について ○主幹教諭より資料の説明 ・個々の管理はどうするのか？ →先進校ではあまり問題となっていない。タブレットの機能で，場所が特定できるため，これまでの貴重品と同じ扱いができる。 ・中学校などでもタブレットが導入されているのか？ →市内では瀬戸田中に1校だけ40台入っている。栗原中では2台だけである。 ・生徒の経済的な負担はどれくらいか？ →生徒一人当たり月額3000円ぐらいを予定している。（校長） ・高校無料化という状況の中で保護者の負担を強いるのはどうか。中学生はどう思っているのか？ →今後中学校を回って説明する。いずれは全県的に実施されることとなる。</p> <p>(3) 中間評価について ア 評価指標の説明（主幹教諭） イ 行動計画に対する自己評価 ・教務部（思考力問題及び生徒の解答状況の説明） ・進路指導部（学習時間と学力実態→良好である。） （学力と学習習慣の変化→学力では2年に課題，特に数学） ・教育研究部（めざす尾道北高の学びの活用と授業アンケートの結果） ・生徒指導部（遅刻者数の実態→今年度は非常に少ない。） （行事に対する当事者意識やボランティア参加者数は良好） ・健康教育部（生徒対象の学校相談体制，教職員対象の支援体制の説明） ・総務部（中学校への広報活動の説明，本校の魅力について） ウ 質疑応答，意見交換 ・尾道市の現状に対して本校はどうあるべきか？ →尾道市は総合戦略を作っており，東京都への一極集中を止めないといけな</p>		

	<p>い。尾道に魅力が必要で、尾道市も模索している。若い人が一旦出ていくことは必要だが、何年か経ってから尾道のことを思っで欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsに興味があり、参考にしたい。 ・尾道から若者が出てしまう状況に解決策はないか？地元への就職など進路を幅広く考えても良いのではないか。 ・教員が本校の置かれている状況をどう認識しているのか。本校のミッションやビジョンが共有できているのか。最近は広域の人事異動があり心配である。全員が進むべき方向を腑に落として取り組む必要がある。 <p>エ 学校運営協議会による評価</p> <p>(4) 閉会行事</p>
<p>次回開催予定日</p>	<p>第3回学校運営協議会は 2月17日(月)を予定。</p>